



平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況 (連結)

平成 19 年 2 月 6 日

上場会社名 株式会社 山武 (コード番号: 6845 東証 1 部)
 (URL <http://jp.yamatake.com/>)
 代表者 役職名 代表取締役社長
 氏名 小野木 聖二
 問合せ先責任者 役職名 管理部長 TEL: (03)6810-1009
 氏名 外山 史郎

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無: 無
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無: 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無: 有
 連結(新規) 1社 (除外) 3社 持分法(新規) - 社 (除外) - 社

2. 平成 19 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	152,142	28.0	5,760	73.4	6,195	65.9	3,214	4.6
18年3月期第3四半期	118,896	3.1	3,322	294.8	3,733	282.5	3,072	-
(参考)18年3月期	188,320		13,514		13,938		9,795	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	43.70	-
18年3月期第3四半期	41.76	-
(参考)18年3月期	132.52	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

平成 18 年 3 月期以外の各数値は監査法人による監査を受けておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期(4月~12月)の国内経済は、企業収益の改善や需要の増加を受けて設備投資が増加し、雇用環境の改善により個人消費も底堅く推移するなど、景気は拡大傾向で推移いたしました。また、海外経済につきましても概ね堅調に推移しております。このような経済情勢の中、山武グループの売上高は 1,521 億 4 千 2 百万円(前連結会計年度末に連結の範囲に含めた金門製作所グループの売上も含めて前年同期比 28%増)となりました。また、損益面では営業利益は 57 億 6 千万円、経常利益は 61 億 9 千 5 百万円(前年同期に比べ、それぞれ 73.4%、65.9%増)と大幅増加となり、当期純利益は 32 億 1 千 4 百万円(前年同期比 4.6%増)となりました。

事業セグメント別の当第 3 四半期の業績は、次のとおりであります。

ビルディングオートメーション事業

建築業界におきましては、依然として低価格競争は続いておりますが、景気の回復を受けて、工場空調市場及び首都圏を中心とした都市再開発プロジェクトなどの建設投資が増加いたしました。このような状況の中、新規建物市場におきましては、お客様のニーズをいち早く取り込み、付加価値の高い製品の投入を図ることにより売上が増大しました。既設建物市場におきましても、引き続き総合エネルギーサービス(ESCO事業)の受注が堅調に推移したほか、サービス事業も順調に拡大いたしました。また、さらなる事業領域の拡大に向けて、セキュリティ事業を強化するとともに、工場市場の空調設備及び省エネソリューションも拡大しております。この結果、ビルディングオートメーション事業の売上高は 525 億 2 千 5 百万円(前年同期比 14.9%増)となり、営業利益も 12 億 4 千万円と前年同期に比べ大幅増加となりました。(前年同期は 9 億 1 千 5 百万円の営業損失)

アドバンスオートメーション事業

企業収益の改善及び需要の拡大を受けて引き続き設備投資が拡大し、市場は堅調に推移した中、山武グループは、プロダクト事業の積極的な拡販活動と安全操業・品質管理・省エネ等の生産現場での課題解決を図るソリューション事業を展開することで業績を拡大しました。なかでも国際事業におきましては、注力してきた中国・韓国・タイ・台湾はもとより、欧米でのプロダクト事業の拡大も進みました。この結果、アドバンスオートメーション事業の売上高は652億8千7百万円（前年同期比3.1%増）となり、営業利益も47億3百万円と前年同期に比べ1.6%増加しました。

ライフオートメーション事業

ライフライン領域の中核を担う金門製作所グループを取り巻く環境は、材料費の高騰や競合各社との価格競争など依然厳しい状況下ではありますが、ビルディングオートメーション事業及びアドバンスオートメーション事業との協業を重点施策とし、事業構造の変革を継続中です。またライフアシスト領域におきましても、介護保険制度の変更や地方自治体の予算圧縮など厳しい環境下ではありますが、新たに参入した高齢者グループホーム事業等により堅調に推移しております。この結果、ライフオートメーション事業の売上高は275億5千9百万円となり、営業損失は4億3千1百万円となりました。

その他事業

検査・測定機器の輸入・仕入販売等につきましては、売上高は80億1千4百万円（前年同期比4.5%増）となり、営業利益は2億5千2百万円となりました。

(2)財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	211,286	110,464	51.8	1,487.59
18年3月期第3四半期	168,939	103,881	61.5	1,412.04
(参考)18年3月期	217,882	110,858	50.9	1,506.25

(注)平成18年3月期以外の各数値は監査法人による監査を受けておりません。

平成18年3月期第3四半期及び平成18年3月期の数値につきましては、従来の「株主資本」を「純資産」の欄に、「株主資本比率」を「自己資本比率」の欄に、「1株当たり株主資本」を「1株当たり純資産」の欄に記載しております。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の財政状況は以下のとおり（平成18年3月期第3四半期末との比較）であります。総資産は、増収による受取手形及び売掛金の増加及び金門製作所グループを前連結会計年度末より連結の範囲に含めたことにより、423億4千6百万円増加しました。また、負債も金門製作所グループを連結の範囲に含めたことを主因として、364億1千3百万円増加しました。純資産は、配当金の支払が40億4千6百万円あったものの、前連結会計年度及び当第3四半期において純利益を計上したことを主因に、65億8千2百万円増加しております。なお、当期より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」を適用しており、従来の「資本の部」に含まれなかった少数株主持分10億2千5百万円を純資産に含めております。今期と同じ基準で比較すると、純資産額は55億5千7百万円の増加となっております。

添付資料

(要約)四半期連結貸借対照表、(要約)四半期連結損益計算書、セグメント情報(セグメント別損益、セグメント別受注・受注残)

以上

[参考]

平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	232,000	16,300	9,900

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 134円57銭

[業績予想に関する定性的情報]

業績予想につきましては、現時点では平成18年11月16日に公表した数値どおりと予想しております。

*業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる場合があります。

〔添付資料〕

1. (1) 要約連結貸借対照表

資 産 の 部							
区分	当第3四半期 (平成18年12月31日)		前第3四半期 (平成17年12月31日)		増減	前連結会計年度 (平成18年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		金額 (百万円)	構成比 (%)
流動資産	139,569	66.1	116,942	69.2	22,627	145,965	67.0
現金及び預金	20,956		19,817		1,139	28,380	
受取手形及び売掛金	67,726		56,760		10,966	79,508	
たな卸資産	33,170		25,628		7,541	21,248	
繰延税金資産	3,530		4,072		△541	5,155	
その他の	14,671		11,016		3,655	12,102	
貸倒引当金	△485		△352		△133	△429	
固定資産	71,716	33.9	51,996	30.8	19,719	71,916	33.0
有形固定資産	(32,057)	(15.2)	(14,975)	(8.9)	(17,082)	(31,023)	(14.2)
無形固定資産	(6,255)	(2.9)	(1,610)	(0.9)	(4,645)	(6,982)	(3.2)
投資その他の資産	(33,403)	(15.8)	(35,411)	(21.0)	(△2,007)	(33,910)	(15.6)
投資有価証券	22,747		29,544		△6,796	23,575	
繰延税金資産	1,162		1,016		145	964	
その他の	10,032		5,252		4,780	10,002	
貸倒引当金	△539		△403		△136	△631	
資産合計	211,286	100.0	168,939	100.0	42,346	217,882	100.0

(注) 当第3四半期並びに前第3四半期の各数値は監査法人による監査を受けておりません。

負債純資産の部							
区分	当第3四半期 (平成18年12月31日)		前第3四半期 (平成17年12月31日)		増減	前連結会計年度 (平成18年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		金額 (百万円)	構成比 (%)
流動負債	75,162	35.6	50,796	30.1	24,365	79,902	36.7
支払手形及び買掛金	37,269		27,318		9,951	38,688	
短期借入金	14,529		3,786		10,742	13,956	
賞与引当金	3,734		3,420		313	8,011	
その他	19,629		16,270		3,358	19,245	
固定負債	25,659	12.1	13,611	8.0	12,047	26,438	12.1
長期借入金	7,010		1,176		5,833	7,913	
退職給付引当金	16,220		11,617		4,603	16,269	
役員退職慰労引当金	163		133		29	141	
その他	2,265		684		1,581	2,114	
負債合計	100,821	47.7	64,408	38.1	36,413	106,341	48.8
少数株主持分	-	-	650	0.4	-	682	0.3
資本金	-	-	10,522	6.2	-	10,522	4.8
資本剰余金	-	-	12,647	7.5	-	12,647	5.8
利益剰余金	-	-	73,748	43.6	-	80,471	37.0
その他有価証券評価差額金	-	-	7,025	4.2	-	7,164	3.3
為替換算調整勘定	-	-	55	0.0	-	59	0.0
自己株式	-	-	8	0.0	-	8	0.0
資本合計	-	-	103,881	61.5	-	110,858	50.9
負債、少数株主持分及び資本合計	-	-	168,939	100.0	-	217,882	100.0
株主資本	102,745	48.6	-	-	-	-	-
資本金	10,522	5.0	-	-	-	-	-
資本剰余金	12,647	6.0	-	-	-	-	-
利益剰余金	79,594	37.6	-	-	-	-	-
自己株式	19	0.0	-	-	-	-	-
評価・換算差額等	6,693	3.2	-	-	-	-	-
その他有価証券評価差額金	6,561	3.1	-	-	-	-	-
為替換算調整勘定	131	0.1	-	-	-	-	-
少数株主持分	1,025	0.5	-	-	-	-	-
純資産合計	110,464	52.3	-	-	-	-	-
負債純資産合計	211,286	100.0	-	-	-	-	-

(注) 当第3四半期並びに前第3四半期の各数値は監査法人による監査を受けておりません。

1.(2) 要約連結損益計算書

区分	当第3四半期 〔自平成18年4月1日 至平成18年12月31日〕		前第3四半期 〔自平成17年4月1日 至平成17年12月31日〕		増減	前連結会計年度 〔自平成17年4月1日 至平成18年3月31日〕	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)		金額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	152,142	100.0	118,896	100.0	33,245	188,320	100.0
売上原価	96,997	63.8	72,563	61.0	24,434	115,551	61.4
売上総利益	55,144	36.2	46,333	39.0	8,810	72,769	38.6
販売費及び一般管理費	49,383	32.4	43,011	36.2	6,372	59,254	31.4
営業利益	5,760	3.8	3,322	2.8	2,438	13,514	7.2
営業外収益	829	0.6	557	0.5	272	623	0.3
営業外費用	393	0.3	145	0.1	248	199	0.1
経常利益	6,195	4.1	3,733	3.2	2,462	13,938	7.4
特別利益	117	0.1	3,228	2.7	3,110	3,262	1.7
特別損失	248	0.2	1,246	1.1	997	1,550	0.8
税金等調整前四半期(当期)純利益	6,065	4.0	5,715	4.8	349	15,650	8.3
法人税、住民税及び事業税	588	0.4	409	0.3	178	4,735	2.5
法人税等調整額	2,104	1.4	2,102	1.8	2	969	0.5
少数株主利益	157	0.1	131	0.1	25	149	0.1
四半期(当期)純利益	3,214	2.1	3,072	2.6	142	9,795	5.2

(注) 当第3四半期並びに前第3四半期の各数値は監査法人による監査を受けておりません。

2. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期

	ビルディング オートメー ション事業 (百万円)	アドバンス オートメー ション事業 (百万円)	ライフ オートメー ション事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	52,525	65,287	27,559	8,014	153,387	1,245	152,142
営業費用	51,284	60,584	27,991	7,762	147,623	1,241	146,381
営業利益	1,240	4,703	431	252	5,764	3	5,760

前年同四半期

	ビルディング オートメー ション事業 (百万円)	アドバンス オートメー ション事業 (百万円)	ライフ オートメー ション事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	45,728	63,299	3,283	7,671	119,982	1,085	118,896
営業費用	46,643	58,670	3,849	7,556	116,719	1,145	115,574
営業利益	915	4,629	565	114	3,262	59	3,322

3. 受注の状況

当第3四半期

	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
ビルディングオートメーション事業	76,231	111.0	52,940	109.4
アドバンスオートメーション事業	73,920	105.5	34,924	115.3
ライフオートメーション事業	28,037	892.5	1,328	375.6
その他	8,415	103.7	1,314	98.0
計	186,604	124.4	90,507	112.6
消去	(1,646)	-	(726)	-
連結	184,958	124.3	89,781	112.4

事業区分の方法

山武グループの内部管理区分をベースに、製品の系列及び市場等の類似性を考慮して、ビルディング・オートメーションを中心とする「ビルディングオートメーション事業」、プロセス・オートメーション、ファクトリー・オートメーション及び制御機器販売を中心とする「アドバンスオートメーション事業」、生活、環境基盤に密着した分野へオートメーション技術を展開する「ライフオートメーション事業」、並びにこれらの事業以外の「その他」に区分しております。

なお、前連結会計年度末において連結の範囲に含めた株式会社金門製作所及び同社の連結子会社を「ライフオートメーション事業」として区分し、併せて、従来、「その他」に含めていたケアサービス、一般住宅向け空調システム製品及び環境関連事業を「ライフオートメーション事業」に変更しております。

なお、前年第3四半期のセグメント情報は事業区分を変更して表示しております。

(参考) 最近における四半期毎の業績の推移

平成 19 年 3 月期 (連結)

	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期
	自 平成 18 年 4 月 至 平成 18 年 6 月	自 平成 18 年 7 月 至 平成 18 年 9 月	自 平成 18 年 10 月 至 平成 18 年 12 月	自 平成 年 月 至 平成 年 月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	43,992	60,280	47,868	
売上総利益	15,768	21,828	17,547	
営業利益	22	5,335	402	
経常利益	250	5,387	557	
税金等調整前当期純利益	190	5,375	498	
当期純利益	169	3,468	84	
1 株当たり当期純利益	2.31 円	47.15 円	1.14 円	
潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	-	-	-	
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	206,490	207,021	211,286	
純資産	108,493	111,511	110,464	
1 株当たり純資産	1,474.73 円	1,506.34 円	1,487.59 円	

(注) 各数値は監査法人による監査を受けておりません。

平成 18 年 3 月期 (連結)

	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期
	自 平成 17 年 4 月 至 平成 17 年 6 月	自 平成 17 年 7 月 至 平成 17 年 9 月	自 平成 17 年 10 月 至 平成 17 年 12 月	自 平成 18 年 1 月 至 平成 18 年 3 月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	31,795	52,738	34,363	69,423
売上総利益	12,675	20,006	13,652	26,435
営業利益	1,566	5,624	735	10,192
経常利益	1,345	5,639	560	10,205
税金等調整前当期純利益	1,380	7,940	844	9,934
当期純利益	1,113	4,989	804	6,723
1 株当たり当期純利益	15.13 円	67.82 円	10.94 円	90.76 円
潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	-	-	-	-
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	163,483	167,289	168,939	217,882
純資産	97,366	104,109	103,881	110,858
1 株当たり純資産	1,323.48 円	1,415.13 円	1,412.04 円	1,506.25 円

(注) 各数値は監査法人による監査を受けておりません。

平成 18 年 3 月期第 1 四半期から第 4 四半期の数値につきましては、従来の「株主資本」を「純資産」の欄に、「1 株当たり株主資本」を「1 株当たり純資産」の欄に記載しております。